

東海林 孝 司

〔民主クラブ〕

地域振興でのリーダーシップ

問 生活に直結する重要施策、住民が期待する政策など短期的効果効率性を追求するのではなく、弾力的・長期的ビジョンを持ちリーダーシップを発揮することが市長に求められる。市長の政策として地域振興策に対する見解を伺う。

答 総合計画において快適な環境、創造性豊かな人を育む協働・感動・生き生きふらのを都市像とする。農村観光都市形成を提起し、地域資源を活用した農業と観光の連携により、活性化に取り組んできた。市民と対話し、情報の提供と共有を積極的に進める。市民との信頼関係を基礎とし、環境の変化に柔軟に対応し、市民の力を最大限に生かせる「指導力・統率力」が求められていると認識。

時代に対応した過疎対策

問 生活交通の確保、高齢者の

見守り、伝統文化の継承、地域資源を生かした地域おこし、都市との教育・文化交流、複数集落との連携づくりなど、地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策を伺う。

答 農家人口の減少や高齢非農家世帯の増加が進行。農村集落の様々な機能低下が懸念。生活実態や資源の状況などの確に把握するため、集落が抱える課題や将来的な展望、活性化対策を見いだしていく。北海道大学富良野サテライトを設置、産業研修センターを拠点とし、農村集落の実態調査を実施し、地域資源や人材活用の事例などから農村の維持・活性化の方向性をつかんでいく。



拠点となる富良野サテライト

予算特別委員会報告

平成21年度各会計予算・関連議案など

全付託案件を全会一致で原案どおり可決

◇平成21年度各会計予算を審査する予算特別委員会は、3月9日、全議員をもって設置され、一般会計・7特別会計

・2企業会計及びこれに関連する基金の処分や条例の一部改正など全13件の議案が付託されました。

◇審査は、3日間の日程で行なわれ、平成21年度的一般会計当初予算は前年対比で0・7%増となりました。国の地方財政対策などを踏まえ、富良野市財政健全化計画を基本に各事務事業の見直し、人件費の縮減等により、歳出の抑制を進める厳しい予算編成の中、各委員からは、医療・福祉対策、農業・商工業振興

◇質疑終了後、討論の申し出はなく、採決の結果、付託された全案件が全会一致をもって「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。

委員長 菊地 敏紀  
副委員長 今 利一

■平成21年度 各会計予算額

会 計	予 算 額	前年比
一 般 会 計	106億 8200万円	0.7%増
特別会計	国民健康保険	29億 4600万円 5.5%増
	介護保険	16億 7830万円 9.6%増
	老人保健	2210万円 92.7%減
	後期高齢者医療	2億 3180万円 11.5%減
	公設地方卸売市場	2200万円 2.8%増
	公共下水道	8億 4400万円 31.3%減
企業会計	簡易水道	2億 7020万円 62.2%増
	水道事業	6億 1470万円 12.9%減
	ワイン事業	7億 2750万円 5.1%減
合 計	180億 3860万円	1.9%減